

令和元年度印西市地域公共交通会議第1回本埜第二小学校周辺地域対策分科会 会議録

開催日時 令和元年5月15日(水)午後2時00分から
開催場所 本埜支所3階会議室
出席者 佐藤信之委員、織原拯委員、岩崎員幸委員、和田賢太郎、浦川真一委員、
石井隆委員、川嶋一郎委員
欠席者 大三川伊津雄委員、染谷豊委員
事務局 交通政策課 鈴木課長、渡邊副主幹、鈴木係長、成田主査、阿部主査
傍聴者 2名

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事
 - (1) スワン号の見直し(案)の検討について
 - (2) 印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート内容の検討について
 - (3) 意見交換
- 4 閉会

会議録(要約)

1 開会

(事務局) ただいまから、令和元年度印西市地域公共交通会議第1回本埜第二小学校周辺地域対策分科会を始めさせていただきます。

2 挨拶

【交通政策課長挨拶】

(事務局) また、本日の会議につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第6項の規定に基づき、公開とさせていただきます。本日の会議においては、傍聴の申し出がありますので、傍聴者を入室させていただきたいと思っております。

【傍聴者入室】

(事務局) また、本日の会議でございますが、会議録作成のため、録音させていただきますので予めご了承ください。

3 議事

(事務局) それでは、次第の3、議事に入ります。

(1)スワン号見直し(案)の検討について

(事務局) 議事(1)について、ご説明いたします。

【資料1 事務局説明】

(事務局) ただいまご説明いたしました議事(1)に関しまして、ご質問ご意見等ございますか。

(委員) 利用者数は大変厳しい状況だが今後も運行を継続してほしいという要望があり、今後も運行を継続出来るような方法を考えていきたい。乗降データやご意見を参考にさせて頂くと、定時定路線運行に重きをおいて展開していくのが良いと考えていますが、その場合、路線の見直しが発生すると思います。利用実績を見ると、小林駅北口、本埜クリニックタウン、和集会所、安食駅、北総栄病院、このあたりを結んだ定時定路線を柱にしつつ、必要などころにはデマンドで迎えに行くというのでは如何かと考えています。市や運輸支局との協議は必要だが、定時定路線を今の車で行いつつ、利用の少ないデマンドについては、区域運行のタクシーでカバーするというのを考えています。タクシーといっても通常のタクシー料金ではなくデマンド料金を適用し、差額については市にお願いする、という方法も考えられます。平成28年のアンケートで、ぜひこのようなことを行ってください、というお願いがある中で始まったことです。今は乗らないけれど将来は乗るというご意見もあります。今やめてしまえば、おそらく次、同じ計画で運行することには非常に困難を伴います。地区の皆様には、乗って残そうではないが、ぜひ乗って頂きたい。運行会社と行政に出来ることには限りがあります。定期券や回数券もあります。乗って頂いて残して頂きたい。

(委員) 朝夕は定時定路線で、昼間はデマンドですが、昼間は、ほとんど走っていない。利用客は、こういった年代の方ですか。

(委員) 多いのはプレーグ本埜に入所されている方なので、免許を持っていらっしゃらない方。細かい年代別に把握してはいませんが、乗車場所や降車場所から考えて、現在、自分で運転するのは困難な方が、ほとんどだと思います。

(事務局) アンケート結果では、電話するのも面倒だという感じですが、デマンドがそのような状況なら、丸一日、定時運行をやってみて、実証してみてもはどうでしょうか。

(委員) 仰るとおりですが、区域乗合なので、丸一日、全車両を定時定路線というのは、どうなのかなというのがありますが。

(委員) 利用者の年代的に、福祉の方で、タクシーに2千円乗ったら1千円を補助する方が、

利用者は伸びるのではないのでしょうか。

(委員) 走る時間を決めてもらったほうが予定を組みやすいので、普通のバスのように走らせてほしいというご意見も得ております。ただ、数は少ないながらデマンドの利用もあり、認可の関係でデマンドというのはついて回りますので、デマンド利用があった場合はタクシーでフォローして、差額を市にお願いするというのも有り得ると考えています。1台の通常のタクシーを、区域乗合の認可と通常のタクシーの認可、両方を取ることは出来ますので、それをデマンドに振り向けることが出来ます。ある程度、利用実績が固定化していますので、そこを対象に定時定路線をやりつつ、という案です。ただ、費用的な問題を、どう解決するかという話があります。

(事務局) 事務局としては、当初予算の額があるので、その中でと考えています。

(委員) 定時運行との同時進行でなくても良いと思います。まず定時運行をして、定時運行にすれば利用実績は上がるでしょうから、そうすると補填分は下がってきますので、そこを見つつという、だいぶ先の話にはなると思うのですが。まずは定時定路線に改めたほうが改善策になると思います。

(事務局) 電話をかけるのもダメだということになると、そういうこともやむを得ないとなるのかもしれませんが、その先の話となると、考えるところがございます。あとは乗らないバス停です。4か月間やって、利用者がゼロというところは、どうしたものでしょうか。

(委員) そこに車を向けず、運行地域を絞って本数を増やしたほうが・・・

(委員) 定時定路線とは安定しているから利用される。毎日毎日走っているから、乗ってみようかということになる。路線を試行錯誤で変えてしまうと、固定客になってくれそうな人が逃げてしまう。東側と西側とに分散しているのですね。

(事務局) 午前中の、ふれあいバス見直し検討分科会で、秋から本埜支所のほうに、ふれあいバスの2路線を回していこうということで承認を得ました。そうすると、本埜支所までくれば、どこかに行けるというスタイルも出来ると思います。安食駅と印旛日本医大駅を結ぶ新しい道路も、令和2年度には開通するのではないかということで、工事も進んでいます。道路事情も変わってくると思うので、そうしたら、中を回ったあと、和から安食駅に向かうのかなど。成田のイオンまで突き抜ける道です。

(委員) 小林駅、本埜公民館、本埜二小、プレーグ、こちらの三角形を9人乗りで。東側をタクシーでと考えるのも良いのではないのでしょうか。

(事務局) プレーグ本埜に関しては、デマンドも、半々ぐらいで使っています。

(委員) プレーゲの人は、デマンドに限らず、タクシーを呼ぶという行為自体に慣れているのですよ。

(委員) プレーゲ本塾からタクシーに乗るお客様は、めっきり減りました。それは、スワン号に乗ってしまうからです。

(委員) プレーゲから駅へは千円ちょっとかかるから、3分の1ぐらいですね。

(事務局) プレーゲの利用者さんは、手帳を持っていて半額の150円で乗られる方も多いので、運賃の差は、それ以上に大きいかと思われます。

(委員) 本塾クリニックタウンもタクシーを呼ぶ人が多いところです。デマンドで26人の乗降実績がありますので、定時定路線にすれば、病院に行って、薬をもらって帰ろうかと、利用されると思います。

(委員) 定時定路線がいいですね。それと組み合わせでいけば。とにかく、変えていかないと、同じやり方ではダメだと思います。バス停が、危なくて乗りづらいと言われるところもあるので、バス停の位置を変えても良いと思います。全部、きれいに廻すというのは難しいので、絞り込んでいかななくてはならないと思います。

(事務局) 白鳥入口、酒直ト杭、安食ト杭上、松木などは、乗ると思ったのに、乗らないですね。家は、あるのですけどね。安食ト杭入口も将監青年館も乗っていないです。

(委員) 3ヶ月間で3人というのは、実質的にゼロと言って良いと思います。少なくとも2桁っていないと。少ないところは、物珍しきで乗ってみようと思った人ではないでしょうか。

(委員) 少ないながら継続して乗ってくださっていれば、2桁になっていないと、おかしい訳です。そうすると、和、栄病院、安食駅、プレーゲ、本塾二小、小林駅、本塾クリニックタウンというところになってしまいます。

(委員) 和から小林駅には、行っていないですね。

(委員) スクールバスは、和の方は、和集会所から乗ります。そうすると、そこまで親が送っていかなくてはならない。スワン号が利用出来ればと、言っている人もいました。

(事務局) 本塾第二小学校周辺地域対策と言いながら、本塾第二小学校は廃校になってしまいました。この分科会の名前については、始まりがこの名前だったので、このまま行きたいと思っています。この地域からは、行きたい駅が複数ある、行きたい病院も複数ある。印西市は、交通対策が難しい市です。

(委員) 日医大病院を利用する人も多いですが、帰りはタクシーになってしまうと言っています。

(事務局) 日医大病院からのお帰りにはデマンドを利用出来るので、覚えてしまえば、こんなに楽なものはないと思います。本会議の中でも出ましたが、事務局では高齢者からアンケートを取ったり、高齢者の集まりに行ってお知らせしたりしていますが、なかなか、1回乗るところまでいかないようです。乗ってみれば、便は良いと思います。宗像路線の師戸地区では、地区で、みんなで乗ろうという動きがあって、非常に利用が伸びています。比較的若い方も、何とか存続させようと、地区の集会で「乗りましょう」という発言をしていただいております。

(事務局) ここで、これで行きましょう、と決めてしまうのは難しいと思います。もっと詰めていかないといけないと思います。スワン号の見直し案について、ご意見、ご提案があれば、メールでも電話でも、用紙に書いて郵送でも結構ですので、今月末までにご提出をお願いします。毎月お集まり頂くのは難しいかと思っておりますので、会議は、書面により開催する場合もございますので宜しくお願いいたします。

(2) 印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート内容の検討について

(事務局) 議事(2)について、ご説明いたします。

【 資料 2 事務局説明 】

(事務局) ただいまご説明いたしました議事(2)に関しまして、ご質問ご意見等ございますか。

(委員) (とくに無し)

(事務局) それではこちらにつきましても先ほどと同様に、ご意見ご提案があれば、メールでも電話でも、用紙に書いて郵送でも結構です。今月末までにご提出をお願いいたします。

(3) 意見交換

(事務局) 意見交換でございますが、ご意見等ございますか。

(委員) (とくに無し)

※印西市地域公共交通会議委員への報償の支払いについて事務局から説明

※委員任期の満了について事務局から説明

※本塾第二小学校が廃校になったが、今のところ分科会の名称は変更しないことを事務局から説明

4 閉会

(事務局) それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回印西市地域公共交通会議本塾第二小学校周辺地域対策分科会を終了いたします。

長時間にわたりまして、ありがとうございました。

(終了 午後3時05分)